

団地のみなさん、畳床やふすま枠など UR負担での取替えが実現しました！

日本共産党

70項目がUR負担に、1月末から対応

昨年12月25日、UR都市機構は賃貸住宅の修繕負担区分の見直しを発表しました。居住者負担となっていた81項目の約8割70項目をUR負担に見直すなど、居住者の負担軽減となるものです。見直した修繕項目は別表の通りです。

URは1月31日から対応を開始するとしています。ただし、畳床、ふすまの骨組み、クロスの修繕などは、50年以上の長期居住者から順次行うとしています。

UR負担となった修繕項目

畳	畳床の取替え
建具	障子の棧・かまちの修理取替 ふすまの縁・骨の修理取替 建具の引手その他付属物修理取替
天井・壁	天井・壁の部分塗替え ビニールクロスの部分補修
床	フローリングの修理部分張替 合成樹脂系複合材の修理など
浴槽等	ふろがまの外箱、熱交換器・排気 塔を除く部品の修理取替など
ガス設備	ガスカランの修理取替 コンロのごとく取替など
給排水	洗面器、便器等の見え掛り配管漏 水处理、取り付けゆるみ直しなど
換気設備	台所換気扇（プロペラ）修理取替 など
その他	水切り棚・つり戸棚、カーテンレール 修理取替など

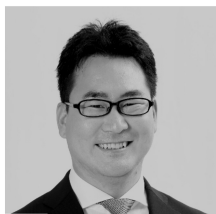
居住者の運動と共産党の共同で実現

負担区分見直しは、日本共産党とUR居住者で組織する全国公団自治協が長年求めてきました。共産党の畑野君枝衆院議員は、民法改正の審議のなかで、区分見直しを強く要求。URが早期の見直しを約束していたものです。

昨年10月、上野ひろつぐさん、浅野ふみ子さん、しいばかずゆきさん、飯川英樹さんらが参加した、共産党の「国への予算要望」でも見直しを求めました。国土交通省は「早期に制度の成案を得たい」と答え、見直しへ大きな前進となりました。

共産党は引き続き、畳表の取替えやふすま紙の張替えなどについても、URの負担にするよう求めていきます。

UR住宅に安心して住み続けられるようこれからも頑張ります



党八千代市県政対策責任者・県議予定候補

上野ひろつぐ



参院千葉選挙区予定候補

浅野ふみ子



日本共産党参議院・比例

しいば かずゆき

八千代民報

2019年1.2月号外 日本共産党八千代市委員会
八千代市大和田新田469-374 Tel.047-459-8411
日本共産党の見解を紹介します。